

請 願 文 書 表 (令和6年11月28日定例会提出)

請願第12号

佐保小学校と鼓阪小学校の統合に伴う新校舎建設工事の早期実現を求める請願書(行財政改革及び公共施設等検討特別委員会付託)

令和6年11月7日受理

請 願 者



鼓阪地区自治連合会

会長 平野 康 隆 外1名

紹介議員

鍵田 美智子 岡田 浩徳

要旨

学校規模適正化により佐保小学校と鼓阪小学校を統合再編し、現在の佐保小学校敷地内に新たな小学校を建設する予算は、過去の定例会で認めていただいております。そのことを真摯に受け止め、佐保、鼓阪両地域は新小学校開校に向け取り組んでおります。

今後も統合再編に向けて立ち止まることなく、着実に推進していくこと、また、両地域と行政は何度も話し合いを行っており、子供たちのために、佐保小学校と鼓阪小学校の児童が学ぶ新しい小学校の開校に向けて、早期に予算の確保等の問題を解決いただくことをお願いいたします。

理由

1. 児童数の減少により、今後、複式学級が懸念される。

奈良市教育委員会の推計によると、少子化により、鼓阪小学校は、令和6年5月1日時点の児童数は74人で、5年後の令和11年には児童数が51人と予想され、令和9年度からは、複式学級が生じる可能性があるとのこと。また、特に佐保小学校の校舎の老朽化と鼓阪小学校の児童数の減少が深刻な問題となっています。

2. 市議会は全会一致で、校舎建設予算を可決している。

市議会は、鼓阪小学校の教育環境の整備のため、佐保小学校に、令和8年4月開校予定の新小学校建設計画が示され、その校舎建設予算については、令和6年3月議会において、全会一致で承認、可決されています。

3. 両地域で小学校開校準備委員会を立ち上げ前向きに進めている。

繰り返し対話を重ね、両地域とも様々な考えはありますが、我々両地域は令和6年3月議会で建設予算が決定されたことを真摯に受け止め、未来の子供たちのためにも、市の示す統合再編案に協力していこうと決定し、両校区で若草中学校区新小学校開校準備委員会を立ち上げ、現在、開校に向けて取り組んでおります。

4. 佐保小学校では既に発掘調査は終了し、教室も移動済みである。

佐保小学校の発掘調査は既に終了しています。しかしながら、令和6年9月の奈良市議会において小学校校舎建設の補正予算が否決され、開校時期の延期や事業を見直す等の報道が

されております。今後、予想されます市街地における統合のモデルケースとしても、建設工事費云々は別次元の話であります。建築資材等の価格優先で教育の質を落とすなどあってはなりません。

統合再編を前提とした建設予算を全会一致で可決し、一方で9月議会では補正予算を否決する等、私ども地域に与える影響は大きく、奈良市議会の責任は大きなものがございます。奈良市議会には良識ある議論を求めます。

以上のことから、新小学校校舎の早期建設及び開校を切に望みます。